

# 鳥獣被害対策はあなたにもできます！

対策の順序は ①みんなで勉強 ②守れる集落、守れる農地づくり  
③柵で守る、追い払う ④捕獲です。この順序が大切です。



## 1 みんなで勉強！

### 1) 集落には二つの餌がある

みなさんの集落にある鳥獣の餌は2種類あります。

- ①食べられることで被害が生じ、**人が怒る餌** (収穫するための作物)
- ②いくら食べても **誰も怒らない餌** (放置されている作物、雑草、生ゴミ等)

鳥獣がどちらを食べても、餌付けしていることに変わりありません。②を食べているからと安心していたら、集落に来る鳥獣が増え、被害拡大につながります。

鳥獣被害対策に最も重要なのは、**集落ぐるみで協力して餌付けを止める** ことです。

### 2) 敵を知る

被害を防止するためには、敵の生態を知ることが重要です。

まずはみんなで勉強し、正しい知識を身につけましょう。(詳しくは8～10ページを参照)



## 2 守れる集落、守れる農地に環境改善！

### 1) 守れる集落になる

まず、集落を歩き回って、集落を点検しましょう。「あそこは、毎年サルが来る」「あの竹林によく隠れてる」など、みんなで確認しながら歩くことで問題点が見えてきます。

被害をもたらす鳥獣をこれまで **どれだけ自由にさせていたか、どれだけ餌付けしていたか** という視点で点検することが大切です。

その後、**被害箇所・けもの道・フンや足跡** などといった痕跡や**罾・柵の場所**などを地図に書き込み、集落点検図を作成しましょう。行動パターンを把握することで、集落の弱点や必要な対策が明確になります。「見える化」することが大切です。



山鹿市南松尾地区の検討会

### 集落点検図の例



荒尾市榊地区の点検図(再現)

集落の点検をもとに、**エサ場**と**隠れ場所**を無くしていきましょう。耕作放棄地やヤブなどの隠れ場所を、全て解消するのが無理でも、農地や住宅周辺からでも隠れ場所を無くしていくように努力しましょう。

どうしても、草刈りや伐採が無理な場合は、集落みんなでロケット花火などによる追い払いを行い、**鳥獣が住みにくい環境**をつくりましょう。

※ロケット花火などの使用に際しては、火事をおこさないように十二分に注意して下さい。

### 2) 守れる農地を上手につくる

年間を通して作物や農地を守るようにしておくことが大切です。「**ちょっとくらい盗られても**」と思っていではダメ。動物たちはどんどんエスカレートしていき集落全体がエサ場になってしまいます。放っておくと上に伸びる果樹も、ヨコに伸びるつる性のスイカやカボチャなどの野菜も、手の届く範囲に仕立てれば収穫もラクに行え、鳥獣から守りやすくなります。

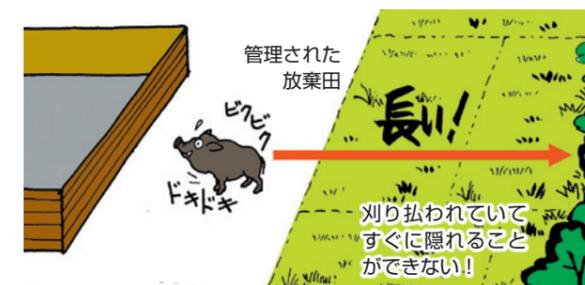
そして、柵を設置することを前提にした用地の確保も重要。まわりを刈り払うことで隠れ場所を無くすこともできます。

#### ヨコに伸びるつる性の野菜は柵に仕立てる



← ヨコへ伸びる →

#### 草刈りによって隠れ場所を無くす！



農地のまわりを2～3m刈り払うだけでも効果がある